

日特エンジニアリング株式会社

1972年に設立。創業35年、巻線機メーカーとして国内外における知名度は高い。日常生活に必要な家電、通信、自動車で使用されているモーター等、電装部品の生産設備を製造し、環境対応製品にも力を注いでいる。ニッチ産業のなかでも技術力が際立っている世界No.1の企業。



取締役 営業部長 菅野 彰彦氏

当社は自動巻線機を中心とした生産設備製品を製造販売している会社です。



工場では製品の開発設計から部品加工・組立検査まで一貫生産され、最終製品とし機械を納めています。ダイレクトに消費者にお届けする製品ではないので、普段の生活のなかで直接目にするのではないと思いが、様々な生活必需品を生産する設備として活躍しております。主な売上構成業界としては、自動車30%、AV家電（液晶関連）22%、情報通信（携帯電話）14%、P.C.O.A（パソコン関連）8%となっています。またアンテナコイルを埋め込んだ非接触型のICカードや多様な用途のタグも主力製品の一角を占めています。

業界シェアとしては、日本ではトップ、世界でも25%を占めるまでになりました。

日特の業務の全体像

ニッチの産業ではありますが、国内外での取引先企業も数社に及びまでになりました。取引先企業は多岐にわたりますが、当社では汎用機に至るまで幅広い開発技術力を持っています。

取引先企業のニーズの多様化とともに基地のグローバル化も進み、更にB.R.I.C.sの発展もあって、現地需要の高まりから新興コイルメーカーも台頭してきました。

当社としては「物を作り、納めればいい」のではなく、取引先製品の企画段階から設計に参画し、設備設計から試作、製造、保守に至るまで

万全の対応に努めております。保全サービスに当たっては、福島工場や世界各拠点からスタッフを派遣し、迅速に対応できる体制となっております。

当社には長年培ってきた生産技術の蓄積があり、取引先企業のニーズを視野に入れたアイデアの提供を行う「ソリューション」営業に努めております。また、パートナーシップを大切に、設計段階から製品のアフターフォローまで、より木目の細かいコミュニケーションをこころうに心がけています。

設備製品としては、数十万円から大きなものでは億円単位の取引額があり、平均して数千円というプロシエクトが多い状況です。

幅広い取引先と世界市場

各業界との信頼を重ね得て、今までに累計で千社を超える企業との取引を行っており、とくに国内では一流企業との取引が主になりました。この信頼を維持するには、取引先の要望に添え、より付加価値のある製品を供給すること考えます。近年、海外から現地生産・供給の要望もあり、現地の生産資源に合った形で、開発・調達・製造・メンテナンス等のフォローが出来るよう、整備を進めております。メリットとして現地の

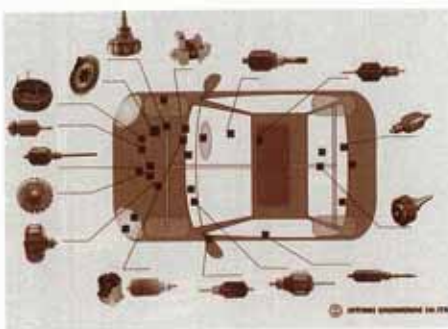


の企業間で取引ができたこと、雇用面、調達面での地域経済に貢献できるところです。

契合はあまり意識していません。当社はフライスリターでもあり、基本的に付加価値を高めるほうへ努力しています。

環境への心配り

今後伸びていく分野は自動車、携帯、家電等であると思っております。とくに自動車は「環境対応型」へ向かっています。家電も「静か」「省エネ」「軽量化」指向で、それをカ



今後の課題と方向性

今後の課題は試作・見積の段階での効率化が挙げられます。汎用機から専用機械に移る傾向にあります。その開発段階での効率的な一定のプロセスを作り上げていかねばならないと思っています。また、取引先企業と一体になったパートナーシップを醸成していくことが重要となります。独自の特許実用新案を持った唯一の巻線機メーカーとして、エンジ

ニアリング事業を自指した存在感ある企業として発展を続けてまいります。

株価は、機関投資家の投機的な売買により大きく変動することはありますが、配当性向30%を目標として、当社を底堅く支えていただける個人株主を大切にしていきたいと考えております。また株主還元のひとつとして株主優待制度の利用も検討しております。

●会社基本データ

日特エンジニアリング株式会社

本社	さいたま市南区白幡5-11-20
資本金	68億8,500万円
株式上市	東京証券取引所市場 JASDAQ
設立	1972年9月28日
代表者	近藤 進茂
社員数	499人(連結)
売上高	136億2,700万円(連結)
発行済み株式	18,948,923株